

しず老施協

巻頭言



「地域包括ケアを共に担う」

特定非営利活動法人

静岡県介護支援専門員協会会長 村田 雄二

静岡県老人福祉施設協議会の皆様には、日頃より当協会や現場で働く介護支援専門員に多大なご支援、ご協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、介護支援専門員の知識・技術の向上や情報交換を図るために、当協会の前身である静岡県介護支援専門員連絡協議会が設立されてから20年が経過しました。現在は、職能団体として個人会員を構成メンバーとするNPO法人に形を変え、会員数は約2,060名となっています。

会員の多くは居宅介護支援事業所に勤務していますが、各種施設における施設ケアマネとしてケアプラン作成担当などの役割を担っている介護支援専門員も大勢います。

近年、地域包括ケアシステムの考え方が広まり、施設も地域の社会資源の一つとして認知される中で、施設ケアマネの役割や期待が一段と高まっています。まだ実績は少ないと思われませんが、介護老人福祉施設から自宅等へ戻られる方もおりますし、施設での看取りも行われるようになってきました。施設と在宅を結びつける役割や、施設での看取り時のチームづくりなどを行う施設ケアマネも出てきました。多くの施設ケアマネは、担当する件数が在宅より多い状況の中、相談する先輩ケアマネが近くにいないなどの課題を抱え、日々悩みながら活動しています。施設ケアマネが施設間同士で情報を交換したり、共に学ぶ機会が増えると

良いと思っており、当協会でも施設ケアマネに対する支援の強化を進めるべく検討しているところです。

老施協さんには、当協会が見習うべき多くの取組があります。その1つが、災害時における他施設への応援態勢や福祉避難所の開設です。また、全国組織から国会議員を輩出し、国への処遇改善の要望等を積極的に行っていることや、施設での看取りができるように体制を整え、時代の要請に応えるなど、例を挙げればきりがありません。当協会も地域の要請にしっかり応えていくことや、その活動が実現できるよう行政に強く働きかけるなど、もっと社会的な役割を担ってきたいと思っています。

そして、介護支援専門員の質をいかに高めるかの課題への対応ですが、上位団体である日本介護支援専門員協会が、本年度より生涯学習制度の運用を開始することになりました。今後、経験年数や本人の能力に合わせて学習する学びの場が設けられることとなります。是非、皆様の施設におかれましても、介護支援専門員の生涯学習体系を参考にいただき、学びの機会を作っていただければ幸いです。

結びに、皆様方施設における新型コロナウイルス感染症防止に向けた一方ならぬご尽力に心より敬意を表するとともに、貴協議会の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

福祉分野における人材確保について



静岡労働局職業安定部
職業安定課長

加子勝巳

静岡県における有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年6月には0.99倍と平成26年1月以来77ヶ月ぶりに1倍を割りこみ、令和2年9月には0.91倍となるなど、県内の経済活動に大きな打撃をうける状況となりましたが、令和3年2月には1.00倍を超え、令和3年11月は1.13倍であり、製造業を中心に新規求人が順調に回復している状況となっております。

コロナ禍における介護分野の有効求人倍率においても、他の分野同様に影響を受け、求人倍率はやや低下したものの、依然として高い水準で推移し、慢性的な人材不足の状況が継続しております。

県内ハローワークでは、人手不足に苦慮する介護・看護・保育・運輸・建設・警備分野への就職支援等を強化するため、ハローワーク静岡、浜松及び沼津の「人材確保対策コーナー」を中心に、全てのハローワークにおいて求人者への働きかけと、求職者への詳細な情報提供などを展開しております。

具体的な取組としては、介護の職業に特化したミニ就職相談会を、静岡県社会福祉人材センターとの連携

福祉・建設・運輸・警備への就職をお手伝いします

人材確保対策コーナーのご案内

コーナーでは、福祉・建設・運輸・警備の分野での活躍に関心のある方、関連する資格免許や経験のある方はもちろん、ブランクのある方、どんな資格免許が必要？、求人選択が難しいなど... お悩みの方への就職支援もいたします。

コーナー利用のメリットとしては、求人票や情報誌の提供、各種セミナー・就職相談会などイベント情報の提供のほか、専門の相談員が就職のお手伝いをいたします。

福祉分野

介護・医療・保育

建設分野

建築・建設・電気工事・土木

ハローワークが就職をサポート

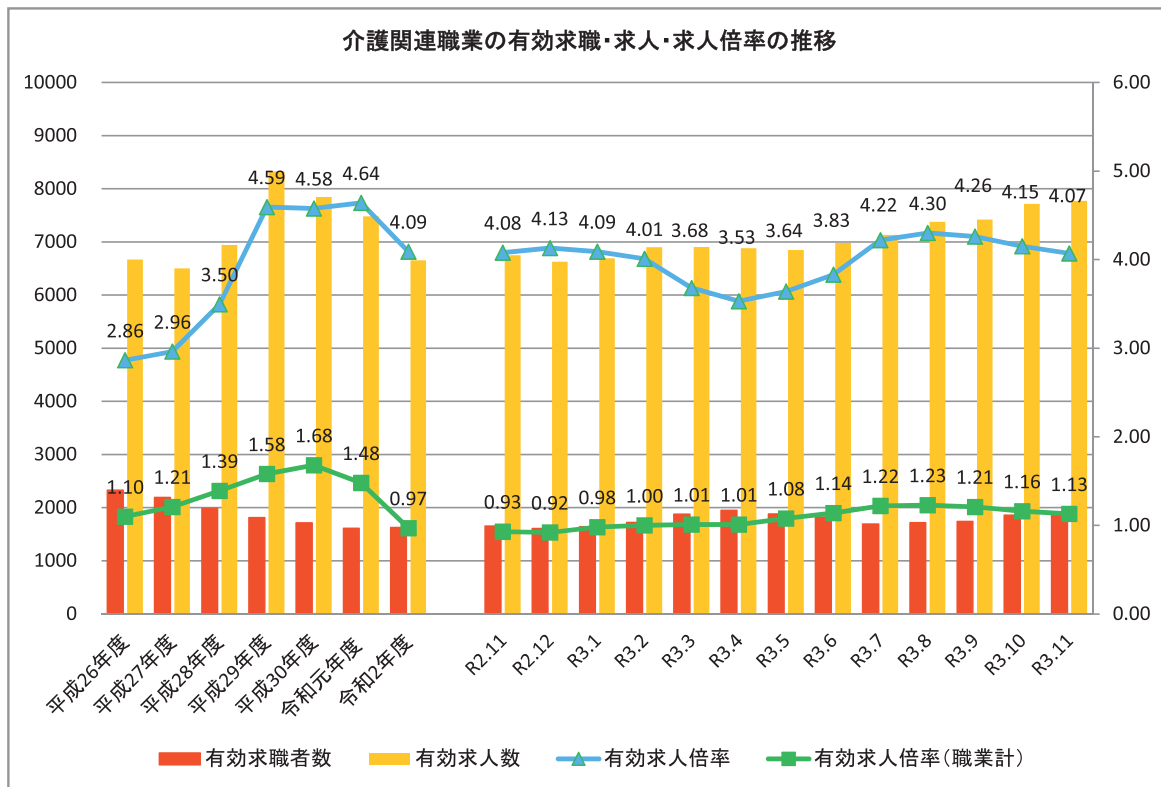
運輸分野

トラック・バス・タクシー

警備分野

警備員(施設・雑務)・交通誘導員

ハローワーク浜松 人材確保対策コーナー 浜松市中区浅田町50-2 TEL053-541-7385



※令和3年11月の有効求人倍率（全国：1.15倍、静岡県1.13倍）



ミニ就職相談会

によりハローワーク会議室を会場として年間130回程度開催しております。

このミニ就職相談会では、企業人事担当者と求職者が気軽に相談できるよう個別ブースを設け、「福祉の現状と魅力」と題したセミナーや、参加企業のPRタイムを設定しております。

介護分野の有効求人倍率が示すとおり、ハローワークに登録している求職者の中で、福祉の仕事を希望する求職者は非常に少ないのが現状です。また介護の仕事を希望する方の多くは、実際に介護職を経験している方々であることから、介護業界の中だけで離転職を繰り返しており、業界全体で考えれば人材の確保には繋がっていないものと考えられます。

そこでハローワークでは、就労にあたり必ずしも資格が絶対条件でない介護職の特徴を考慮し、介護職に興味を示す介護職未経験の方を対象に、ミニ就職相談会と併せて開催する「福祉の現状と魅力」と題したセミナーへの参加を積極的に案内しており、介護従事者から介護の仕事内容や処遇面、介護の魅力等を語ってもらうことで、本当の介護の世界を知っていただくことを目的としています。

また、介護職未経験者の方々には、もっと身近に介護の仕事を感じていただくため施設への職場見学も案内しているところです。

これらの取組は多くの介護職未経験者の方々の介護施設への就職に導く足がかりとなり、また再就職後の早期離職を防ぐ一定の効果も感じているところです。

求職者の離職理由をみると、新型コロナウイルス感染症の影響によるものは意外に少なく、一般的な労働条件等の処遇改善や人間関係、家庭の事情、キャリアアップ等が多くを占める状況の中、勤務先での人材不足等の影響から、仕事量が増加し残業が増え結果として身体的、精神的苦痛から体調を崩すなど、健康面の不安を挙げる方が増えており、再就職先の希望条件を職種や給料等よりも「働きやすい会社」を優先する傾向が強いと感じます。

福祉施設にとっては、かねてよりの人材不足に加え、施設利用者への新型コロナウイルス感染防止対策等のため、苦慮される場面は多いことと思われまます。

このような状況下のため、より働きやすい職場環境への改善に取り組んでいただくことで、必然的に従業員の定着率の向上が計られ、結果として人材確保に繋がるものと考えます。どうか積極的に魅力ある職場作りを推進していただきますようお願いいたします。

最後に、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、人材の募集につきましては、最寄りのハローワークをご利用いただきますようお願いいたします。

<静岡労働局雇用環境・均等室からのお知らせ>

改正女性活躍推進法に基づき一般事業主行動計画策定等の義務が、常時雇用する労働者が301人以上の事業主から101人以上の事業主へ拡大されることとなりました。該当する事業所は計画策定等の手続きをお願いします。

施行前	下記(1)~(4)の取組が努力義務	施行後	施行日
(1)自社の女性の活躍に関する状況把握、課題分析	(2)1つ以上の数値目標を定めた行動計画の策定、社内周知、公表	左記が義務	令和4年 (2022年) 4月1日
(3)行動計画を策定した旨の労働局への届出			
(4)女性の活躍に関する1項目以上の情報公表			

お問合せ先：静岡労働局雇用環境・均等室 TEL 054-252-5310

男女共同参画と女性活躍の取組の推進について



静岡県暮らし・環境部
男女共同参画課長

山口 精子

静岡県では、誰もが個性を活かし能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、平成13年7月に「静岡県男女共同参画推進条例」を施行しました。

県ではこの条例に基づき、男女共同参画施策を計画的に進めるため、令和3年度から5年間の計画期間とする「第3次静岡県男女共同参画基本計画」を策定し、「ジェンダー平等の推進による誰もが幸せを実感できる社会の実現」に向けて、男女共同参画や女性活躍に関する様々な取組を進めています。

条例施行から20年が経過し、意識の上ではジェンダー平等に関する理解は深まってきてはおりますが、実態として、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別役割分担意識やアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に縛られた社会の制度や慣習が、今なお根強く残っており、男性を中心とした労働慣行により、男女間で給与や昇進に差がついたり、女性が家事・育児・介護等の多くを担っていたりする現状から、働く女性の多くが、仕事と家庭の「二重負担」を余儀なくされています。

こうした実態を変えていくためには、経営者自らが、これまでの労働慣行を見直し、性別に関係なくキャリアアップが図られ、時間外勤務の削減や育児・介護などの事情に配慮した多様な働き方ができる体制づくりを考えていくことが大切です。

県では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）等、男女共同参画の取組を推進するため、「男女共同参画社会づくり宣言」を行う県内事業所・団体を募集しています。事業所・団体の代表が取組を「宣言」し、その内容を記載した登録証を県が発行します。登録証は職場内に掲げていただき、トップの意志を職員が共有することで働きがいにつながっていただいています。取組内容は県ホームページで紹介するほか、優れた取組を行っている事業所を表彰する「静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞」への応募が

できます。現在、登録事業所数は約1,700で、多くの福祉事業所にも「宣言」いただいております。皆様の事業所でも「宣言」してみませんか。



ワーク・ライフ・バランスで
仕事に活気 生活にゆとり

男女共同参画社会づくり宣言

静岡県男女共同参画社会づくり宣言

また、女性の働き方に大きな影響を与えている、家事と育児の二重負担の解消には、男性の家事・育児への積極的に参加することが重要であることから、家庭の家事を上手に共有できるポイントをまとめたパンフレット「パートナーとの今と未来を創造する家事シェアリング」を作成しました。施設で働く職員の皆さんのワーク・ライフ・バランスのヒントとなるものと思いますので、お読みになってみてください。



「家事シェアリング」パンフレット

職場における女性の活躍は、社会・経済活動の原動力であり、男女共同参画社会の実現には不可欠です。そのため、県と企業、団体等が一体となって女性活躍の一層の促進を図るネットワーク組織「ふじのくに女性活躍応援会議」を設置し、意見交換や情報発信を行っています。具体的には、「女性が活躍し働き続けられる環境づくり」「女性のキャリア形成に対する意識の醸成」「経営者や管理職層への意思改革の促進」などに取り組んでいます。



ふじのくに女性活躍応援会議

この、「ふじのくに女性活躍応援会議」には現在、県内の事業所、団体230社以上に参加いただいております。これから女性活躍の取組を積極的に進めたい、参加企業の取組について情報共有したいと考えている事業所、団体の皆様、是非、この応援会議に御参加ください。

県では、男女共同参画や女性活躍に取り組む事業所や団体等と共に、SDGsの5番目のゴールである「ジェンダー平等の実現」に向けて取組を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

今回紹介した取組の詳細な内容は、静岡県男女共同参画課ホームページから御確認いただけます。

また、以下のQRコード又はインターネットで「ふじのくにメディアチャンネル」から「ふじのくに静岡県庁チャンネル」にアクセスしていただくと、当課職員が「ジェンダー平等」について分かりやすく解説した広報動画を配信しています。どうぞ、御覧ください!!

お問い合わせ 静岡県男女共同参画課
 電話番号 054-221-2824
 電子メール danjyo@pref.shizuoka.lg.jp
 ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-150/danjol.html>



静岡県男女共同参画課ホームページ
QRコード



2021年の流行語「ジェンダー平等」って何? (YouTubeふじのくに静岡県庁チャンネルにて配信)



YouTubeチャンネル
QRコード

オンライン研修 「フィンランドの高齢者福祉を学ぼう」に参加して

静岡市清水区の3か所の会員施設が、「フィンランドの高齢者福祉を学ぼう」をテーマにオンライン海外研修（主催 南海国際旅行）に参加しました。

特別養護老人ホーム白扇閣 施設長 久保田和宏

全5回（10時間）にわたり、現地より生配信、歴史的・文化的背景から施策全般、理念等々、最終日は現地の高齢者施設の施設長、職員とのディスカッションまで、フィンランドの福祉を学びました。

利用者が「どのように自分が生きていきたいか、死を迎えたいかを自分で決めることが出来る」。職員は、「その人らしい生活の実現のため、利用者の嗜好からトラウマやポジティブな経験、元気になる魔法の言葉、夢や希望まで、細かにアセスメントを行いサービスに生かす」。

施設での暮らしでは、職員は家族となって一緒に暮らし、亡くなっていくプロセスを一緒に過ごす。最期まで自分らしく生きて笑顔で死を迎える。まさしく、利用者本位、利用者の尊厳の尊重の実践でした。

施設での暮らしも、入居する方々の人生ストーリーの中の価値ある時間となるように、今後のサービスに生かしていきたいと思いました。

今回、お隣の特養「こもれび」と「レジデンス花」と参加し、一体感も生まれ、実り多い研修となりました。



現地より生配信 フィンランドの歴史から学びました。

特別養護老人ホームこもれび 施設長 池田達哉

本来なら日程も費用面もハードルの高い北欧の海外研修が、今回リモートという形でとても気軽にじゅくりと、そして多くのスタッフが一緒に参加できたことがとても良かったです。

最も印象に残ったことは「自己決定、個人の意思の尊重」が徹底されているということです。私の施設も「思いに沿った暮らしの支援」を理念に掲げて、一人ひとりに合わせたケアに力を入れています。どうしても色んなリスクを想定して、また自分たちの業務の都合を考えてしまい、理想通りには行きません。しかしフィンランドでは「個人の意思を尊重する」ことが文化として当然のように根付いていて、子どもの頃から自分のことは自分で決めながら成長しています。ですから高齢者は自分の最期をどのように迎えたいかをしっかり考えていて、介護職員はそれを理解し、そのための支援をしています。

今回の学びがそのまま日本で実践できるとは思えませんが、やり方次第でもっと個人の思いを優先した支援が出来ると感じました。



家庭的な室内を写真や動画で。

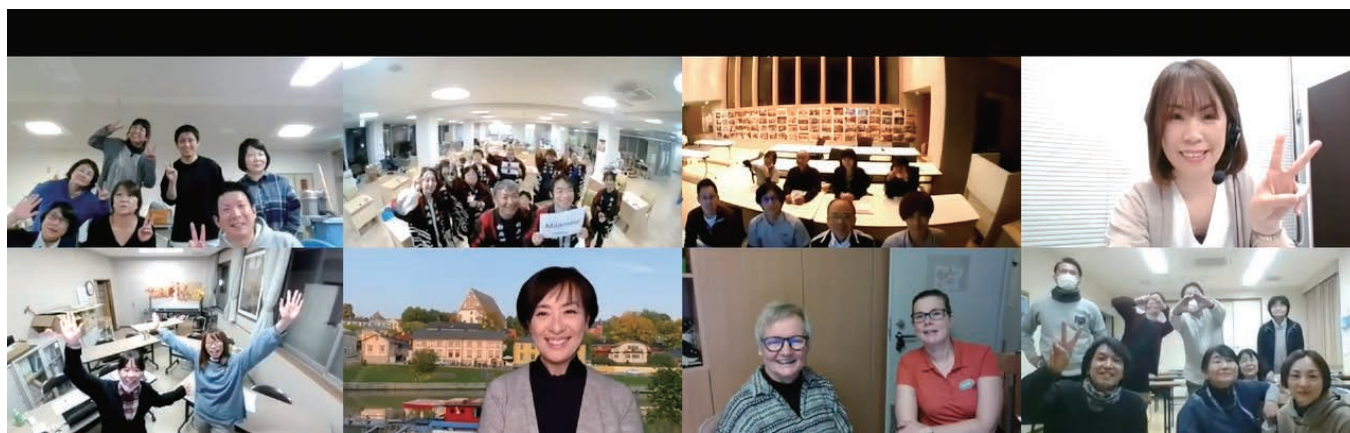
Villa tapiolaのケアから学んだこと

レジデンス花 小笠原優里

フィンランドの研修を受けて、「個」に寄り添う気持ちの必要さを一層感じました。現地の介護現場では「個」を大切にしたい工夫が各所に施されており、ケアの方法を振り返ることができました。「個」に寄り添うとは何か、具体的に自分の中で大切にしていることの一つは「対話」であると考えます。朝カーテンを開ける時に声を掛けてみたり、手を握って会話したり、爪を切りながら会話したり、私は日々の中で対話を大

事にしようと時間を取っています。

今回の研修を受け、自分もまたその気持ちを大事に持っているのを再認識出来ました。また「看取る時は、その時に自分がすべきだと感じたことを行い、自分が亡くなる時を考えてみる」と現地施設長の方はインタビューで語っていました。弱っていく利用者とそのご家族に対し、気持ちに添う事の大切さを思うと共に、フィンランドと日本では習慣も文化も違っていますが大事にしたいことは同じであるのだと感じました。このような機会をいただきありがとうございました。



参加職員とフィンランドの施設長・スタッフさん、現地コーディネーター、旅行会社スタッフさんと集合写真

要請活動（養護・軽費老人ホーム職員の給与改善について）

政府が昨年11月に取りまとめた経済対策による介護職員の給与引上げ（3%程度、9,000円/月）の対象から外れている養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスの職員給与の改善について、県及び政令指定都市（静岡市、浜松市）に対して要請活動を行いました。

1月31日に、種岡会長と前田副会長が県庁を訪問して、石田健康福祉部長に要請書を提出しました。

また、同日の1月31日に、種岡会長と中部支部の皆さんが静岡市役所を訪問して杉山保健福祉長寿局長に、1月25日には、種岡会長と西部支部の皆さんが浜松市役所を訪問して山下健康福祉部長に、それぞれ要請書を提出しました。

★要請書全文を老施協ホームページのピックアップコーナーに掲載しています。



石田 県健康福祉部長訪問



杉山 静岡市保健福祉長寿局長訪問



山下 浜松市健康福祉部長訪問

掛川市ききょう荘改修 基本計画について



掛川市健康福祉部
長寿推進課長

山田 光宏

掛川市には、養護老人ホームが2施設あります。そのひとつが今回ご紹介する「ききょう荘」です。

ききょう荘は、昭和30年に生活保護施設「桔梗寮」として誕生し、昭和36年に定員50人の養護老人ホームとなりました。現在の建物は昭和55年に建設されたもので、平成12年には耐震補強工事を実施しています。

施設が築35年を過ぎようとするころ、施設を延命化するか、新築するか、今後の方向性について検討に入りました。もう一方の施設との統合集約が大きな課題であるとともに、地球規模で深刻化している豪雨や台風、地震などの激甚化に対する入所者の安全・安心の確保など、さまざまな視点から協議を重ね、改修の道を選ぶこととなりました。平成27年に掛川市ききょう荘改修基本計画を策定し、平成28年から令和7年までの10年間で約1億5千万円の改修計画をまとめました。

工事内容ですが、屋根防水や外壁塗装など建物本体に関する工事のほか、受水槽や給水ポンプなどの設備工事も実施してきました。また、当初の計画にはありませんでしたが、記憶に新しい令和2年度には、猛暑による熱中症対策として、入所者の健康面を考慮し、各居室へのエアコン設置などにも取り組みました。



施設内でのクリスマス会の様子



外観（外壁塗装後）

本年度は外壁塗装工事を施工し、これまでの淡いグリーン系の外観は、心機一転ブラウン系でまとめ、見た目にも様変わりしました（上記写真のとおり）。今後は内部塗装や小規模の設備工事を予定しております。

これら大規模改修を続けるなかで特に気を配るのは、工事期間中の入所者の安全確保です。常に入所者が生活をしているため、理解と協力が不可欠です。施設側をはじめ設計監理者や施工者などと情報共有をしながら、生活に支障を及ぼさないよう十分に注意をして取り組んでまいりました。

そんな中、令和2年2月から全国的に新型コロナウイルス感染症が大流行しました。その後、県内にまん延防止措置の適用や緊急事態宣言が発令されるなど、感染の収束はまだ見えていません。工事関係者は施設内に感染症を持ち込まないように対策を徹底してきましたので、入所者や工事関係者の感染はいまだ確認されていません。

これまでに、大きな事故もなく施工した工事関係者に感謝を申し上げます。今後においても引き続き、入所者の安全と生活環境の向上に向けて、施設の延命化工事に努めてまいります。

新人職員紹介

各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

炉暖の郷

（沼津市）



- ① 近藤沙紀（介護福祉士）
- ② 利用者様から不意に「ありがとう」と言われたこと
- ③ スティッチ（ディズニーキャラクター）
…特に好きなタレントは無し
- ④ 新車を買って、車でお泊りディズニーへ行く。残りは貯金
- ⑤ 利用者様やその家族に、この施設で生活できて良かったと思ってもらえるようにしたい
- ⑥ 施設名が気に入った。暖かそうな感じがしてどんな施設なのか気になり、働いてみたいとおもったから。



伊豆中央ケアセンター

（伊豆市）



- ① 山口彩花（介護士）
- ② 初めてボーナスをいただいたこと
- ③ ヨルシカ YOASOBI 佐野優子（バレーボール選手）
- ④ 半分は貯金。家を建てる。海外旅行に行く。
- ⑤ 利用者、職員みなさんの笑顔で溢れ、楽しいと思える日々が送れるような施設にしたいです。
- ⑥ 大学生の時に実習させていただきました。その時に尊敬できる介護士の方がいて、ここで教わりたい、一緒に働きたいと強く思い、春風会に志望しました。



こもれび

（静岡市清水区）



- ① 金子成留美（介護士）
- ② AirPods Proをもらったこと
- ③ 永野芽郁
- ④ 少しだけ私欲に使って残りは貯金します
- ⑤ 利用者の方がこもれびの施設で良かったと居心地が良いと思っていただけるようにしていきたいです
- ⑥ 施設の雰囲気がとても良かったのと、未経験でも安心して働くことができる環境が整っているからです



浜石の郷

（静岡市清水区）



- ① 佐藤 滯（ケアワーカー）
- ② 美味しいお饅頭を食べたこと
- ③ 菊乃さん（モデル）
- ④ 海外に移住し、のんびり暮らす
- ⑤ ご利用者様を第一に考え、常に笑顔の絶えない職場
- ⑥ 自分自身が生まれ育った町の施設で働くことで、地元ならではの会話などをするのができ安心して生活して頂けるお手伝いができるから



第二南風

（浜松市南区）



- ① 八木彩音（介護福祉士）
- ② 入居者さんからチョコレートやポンカンをいただいたこと。
- ③ SixTONESの田中樹を推しています
- ④ SixTONESのグッズを買い占めて、余った分は貯金します。
- ⑤ 介護施設と聞くと、バタバタしていて忙しく毎日が過ぎていくイメージが私は強いです。ですので、入居者さんも職員も心にゆとりが持てる介護施設にできたら嬉しいです。
- ⑥ 高校生の時職場見学に伺った際、バスで施設に来た私を車で自宅まで送って下さり、とても温かい施設だと感じたからです。それだけでなく、施設の中も広く清潔感もあり、働いている先輩方が介護の仕事に誇りを持っているように感じたからです。



浜松十字の園

（浜松市北区）



- ① 森上 栞（介護士）
- ② 久しぶりに友人と出かけることができたこと。
- ③ After the Rain（そらる×まふまふ）
- ④ 家を建ててルーミー（青）を買う。
- ⑤ 利用者も職員も明るく楽しく過ごせる職場にしていきたいです。
- ⑥ 学生時代にアルバイトをしており、職員間の雰囲気がとてもよかったです。



どうぞよろしく申し上げます

知事新年挨拶県庁訪問

正副会長の活動

令和4年1月6日、相談役、正副会長は新年挨拶のため川勝知事を訪問しました。



令和3年度老施協活動報告（令和3年11月1日～令和4年3月31日）

【老施協】 ☆は予定

- ★12月10日 第3回理事会
任期満了に伴う役員、委員会委員の改選、新型コロナ感染症発生施設見舞金・応援派遣協力金の創設他
- ★2月22日 事業推進検討会議
令和4年度支部・委員会活動計画案の調整等
- ☆3月10日 第4回理事会
新役員案・新委員の決定等
- ☆3月22日 第5回理事会
現・新（予定者）役員顔合わせ等
- ☆3月22日 第2回総会
新役員選任、令和4年度事業計画案・一般会計収支予算案
- ※新型コロナウイルス感染症対策
- ★11月10日 静岡県知事への派遣活動報告
- ★11月22日 第4回感染症発生施設応援体制検討会議
- ★12月2日 応援職員派遣施設への感謝状贈呈式
- ★2月22日 第5回感染症発生施設応援体制検討会議
- ☆3月10日 自由民主党（県議会）への要望活動

【企画経営委員会】

- ★11月10日 第3回委員会
アンケート調査結果、振り返りと今後の活動（新型コロナ、人材確保、要望活動、ネットワーク等）

【広報委員会】

- ★11月24日 第3回委員会（リモート）
[しず老施協] 第63号の企画、老施協ホームページ

【研修委員会】

- ★11月25日 臨時委員会

接遇マナー研修アンケート結果、人材育成研修、施設長研修等

- ★11月29日 人材育成研修（リモート）
- ★1月14日 第5回委員会
人材育成研修の実績、特定技能制度外国人確保セミナー、施設長研修他
- ★2月3日 外国人介護人材受け入れセミナー（リモート）
- ☆3月22日 施設長研修（集合及びリモート）

【21世紀委員会】

- ★10月25日～11月14日
介護の日PRポスターを三島駅、静岡駅、浜松駅構内に掲出
- ★2月7日 第5回委員会
関ブロカントリーミーティング(千葉大会)について

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★11月19日 第1回委員会（集合及びリモート）
大会の開催方法・内容の検討、今後のスケジュール
- ☆2月28日 第2回委員会（集合及びリモート）
キャッチフレーズ、発表テーマ、募集要項等

【特養委員会】

- 7月1日～8月31日 待機・入所状況調査アンケート配布・集計
- 10月 待機・入所状況調査報告書配布
- ★1月11日 第4回委員会
加算取得調査（1回目）報告書、令和4年度事業計画等

編集後記

この原稿を書いている1月24日は、国民の人気アニメ「ドラえもん」に登場する野比のび太君の父、野比のび助さんの誕生日です。昭和15年生まれなので、82歳になります。ちなみにのび太君の誕生日は昭和39年8月7日なので、今年58歳になります。

この数字を知った時、楽しいアニメの世界から現実の世界に引き戻されました。頭をよぎったのは「8050」

という数字。ママさんや静香ちゃんはお元気だろうか。もしパパさんとのび太君が2人暮らしたら…とあれこれ考えました。次の選択肢のうち、あなたがのび太君だったら、どちらを選びますか。

- ・「たすけてドラえもん」
- ・「たすけてケアマネさん」 どっち？

（鈴木龍太）